

令和6年度  
事業報告書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

社会福祉法人 へいりん荘

## 1 役員会等開催と審議内容

### (1) 理事会

- 令和6年6月3日
- ・令和5年度事業報告の承認について
  - ・令和5年度法人本部拠点区分資金収支決算の承認について
  - ・令和5年度軽費老人ホーム拠点区分資金収支決算の承認について
  - ・社会福祉法人へいりん荘非常勤職員等就業規程の一部改正について
  - ・定時評議員会の招集について
- 令和7年3月5日
- ・令和6年度軽費老人ホーム拠点区分資金収支補正予算（第1回）
  - ・令和7年度事業計画について
  - ・令和7年度法人本部拠点区分資金収支予算
  - ・令和7年度軽費老人ホーム拠点区分資金収支予算
  - ・社会福祉法人へいりん荘給与規程の一部改正について
  - ・評議員会の招集について

### (2) 評議員会

- 令和6年6月18日（定時評議員会）
- ・令和5年度事業報告の承認について
  - ・令和5年度法人本部拠点区分資金収支決算の承認について
  - ・令和5年度軽費老人ホーム拠点区分資金収支決算の承認について
  - ・社会福祉法人へいりん荘非常勤職員等就業規程の一部改正について
- 令和7年3月13日
- ・令和6年度軽費老人ホーム拠点区分資金収支補正予算（第1回）
  - ・令和7年度事業計画について
  - ・令和7年度法人本部拠点区分資金収支予算
  - ・令和7年度軽費老人ホーム拠点区分資金収支予算
  - ・社会福祉法人へいりん荘給与規程の一部改正について

### (3) 監事会（※ 監事は理事会、評議員会に出席）

- 令和6年5月21日
- ・令和5年度事業報告書並びに各会計資金収支決算書（収支計算書、貸借対照表、財産目録等）についての決算監査の実施
  - ・令和5年度理事の業務執行の状況及び法人の財産の状況についての定期監査の実施

## 2 財務の状況

令和6年度の当法人の財務会計状況については、別紙の法人本部及び軽費老人ホームの各拠点区分別決算書、附属資料の通りである。物価の上昇がなかなか収まらず、とりわけ食材費や光熱水費の値上がりは、本荘の財務運営に大きく影を落としている。令和6年度は施設、設備の修繕が少なかったこと等により、軽費老人ホームへいりん荘拠点区分資金収支の赤字は小幅であったが、経常的な経費が増えることによる財務状況の硬直化については、注意深くみていく必要があり、今後も入所定員の確保等により財源の安定的な確保に努めていかなければならない。

なお、入所者に負担を求める利用料のうち生活費については補助基準における上限が引き上げられたことにより、55,200円/月を57,024円/月に、また居室料についても1,776円引き上げて6,276円/月（A・B棟）13,776円/月（C・D棟）にそれぞれ改定した。

### 3 法人施設整備計画への対応

令和6年度においては、大きな施設・設備関係の補修工事等は無かったが、パッケージ型消火設備に不具合が生じたことによる交換工事等、施設の安全設備等の管理については、適切な対応を心がけた。また、老朽化が進む浄化槽関係の設備については、快適で衛生的な生活環境を維持していくため、必要な補修工事を行っている。

目下、施設の長寿命化に資する大規模な改修、修繕工事の具体的な計画は無いが、今後、財政状況を考慮しながら安全、安心で快適な生活環境を維持するための改善・補修工事等は、必要に応じて順次行っていくこととしている。

### 4 軽費老人ホーム運営状況

(1) 入所者の状況（令和7年3月31日現在 但し、アの月別入所者数は毎月1日現在）

ア 月別入所者数（定員50名） 月平均49.6名（入所率99.2%）

（単位：名）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計 (延べ)
男	18	18	19	19	19	19	19	20	19	18	18	19	225
女	32	31	31	30	31	31	30	30	31	31	31	31	370
計	50	49	50	49	50	50	49	50	50	49	49	50	595

※年間 新たな入所者 11名 退所者 11名

イ 年齢別

60～64歳	0名	65～69歳	2名
70～74歳	5名	75～79歳	6名
80～84歳	11名	85～89歳	15名
90～94歳	9名	95歳以上	2名

ウ 平均年齢 男 82.4歳 女 85.6歳 平均 84.4歳

エ 出身地別

甲府市	33名	甲斐市	3名	笛吹市	3名	南アルプス市	1名
韮崎市	3名	北杜市	3名	市川三郷町	1名	県外	3名

オ 在所年数

15年以上	2名	11年～14年	3名
6年～10年	9名	2年～5年	15名
1年以上～2年未満	10名	1年未満	11名

カ 外出者数 男(延) 571名 女(延) 1,634名 計(延) 2,205名

キ 外泊状況（除入院等）

男(延) 0回 女(延) 9回 計(延) 9回

ク 面会者数 (延) 48名（うち入所者家族 26名）

※在宅介護サービス等の来荘者は含まない。

ケ 年金等の受給状況（含重複受給）

厚生年金	34名	遺族厚生年金	7名	国民年金	9名
障害年金	3名	厚生年金基金	1名	個人年金	0名

企業年金 0名 企業共済年金 1名 恩給 1名

## (2) 処遇

### ア 概況

今年度も従前に引き続き、入所者が「安全に安心して心豊かに快適な毎日を過せること」を基本に、年間を通じて、職員会議等の開催により職員相互に入所者に関する情報共有を図りながら、それぞれの入所者が必要とする各種支援を行い、良質なサービスの提供を心掛けた。新型コロナウイルス感染症等への対応については、昨年度から日常生活の閉塞感を和らげるため、行動制限や面会制限を緩和してきているが、感染予防に努める観点から、昨年と同様に室内における入所者が長時間参加する行事等は開催時間や規模を縮小して実施することとした。

荘の主な行事としては、敬老祝賀会、七夕まつり、クリスマス会、節分の豆まきなどを実施し、内容は簡素なものとしたが、入所者には楽しく季節感を感じるひと時を提供した。なお、日帰旅行の再開は見合わせることにした。

また、健康の保持に資するため、毎日午前9時半と午後3時のラジオ体操を実施するとともに、グラウンドゴルフ、介護予防体操等を実施したほか、大人のぬり絵クラブや脳トレクラブ（工作なども行う）は定期的を開催し、作品を掲出するなどして入所者の好評を得た。入所者有志には、個々に圃場での野菜・花卉の栽培等を通して生きがいを感じていただくとともに、荘庭の樹木の手入れや除草、共用場所の清掃など環境の整備・美化に取り組んでいただき、入所者が自立して安らぎに満ちた日常生活を送れるように努めた。

衛生面においては、日々の入浴、部屋のかたづけ等の支援により身の清潔保持に努めるとともに、入所者個々の排尿、排便、洗濯、残食管理、居室整理等の状況を確認して必要な支援を行うとともに、健康診断結果や持病・既往症を把握する中で積極的に体調の管理をサポートし、入所者一人ひとりの健康保持にも意を用いた。

感染性胃腸炎（ノロウイルス等）、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症等の感染予防対策としては、入所者及び職員へのワクチン接種、食堂席にアクリルパネルの設置継続のほか職員の日常業務の中では施設の清掃、消毒、手洗いの徹底などに留意するとともに、面会者等に対してもマスク着用や手指の消毒に協力を求め、感染予防に取り組んだ。なお、鋭意感染予防に努めてきたが、年間を通して新型コロナへの感染は、入所者5名、職員1名が確認されるとともに、入所者2名のインフルエンザ感染も確認された。幸いクラスターにはならず感染した入所者の症状も軽かったため入院した者は無く、静養室又は自室隔離で療養し無事回復している。

介護保険制度の利用に関しては、入所者に介護保険制度への理解を深めてもらう中で、介護認定の結果にもとづき入所者それぞれに必要なとされる各種のサービスを効果的に利用していただいた。介護保険の各種のサービスの利用を通して、入所者が長きにわたり可能な限り自立した生活を継続できるよう、今後も関係機関、関係事業所と連携して入所者の支援に取り組んでいくこととする。

給食については、食材費の値上がりが止まらない中であっても、入所者の嗜好をふまえつつ、バランス、バラエティ、栄養価に配慮して手づくりの味が堪能できるよう献立を工夫し食事を提供した。また、個々の身体状況に応じて、刻み食、おかゆの提供など、食生活の面からも入所者へのきめ細かな対応に努めた。

### イ 年間の主な行事等

月	日	行 事 内 容	場 所	参 加 者	
				入所者	外部の方
4	2	桜のお花見会	荘庭	23名	
5	31	入所者検診（胸部レントゲン、心電図）	荘内	46名	
6	21	防災避難訓練（夜間）	玄関ロビー等	46名	
7	5	七夕まつり	玄関ロビー	21名	
8	9	夏まつり 縁日	玄関ロビー	27名	
9	13	敬老の日祝賀会	食堂	48名	
9	18	防災避難訓練	玄関ロビー等	46名	
10	18	入所者検診（血液検査ほか）	荘内	47名	
11	13	チームオレンジへいりん荘地域貢献イベント（共催）	荘内	21名	20名
11	22	焼き芋会	荘庭	24名	
12	24	大正琴クリスマス演奏会	食堂	27名	
1	31	節分・豆まき	荘内	16名	
3	19	ポップサーカス鑑賞	甲斐市	7名	
3	28	桜のお花見会	荘庭	18名	

※ 誕生会は毎月第一木曜日に開催。（令和7年1月からは毎月第一火曜日に開催）

#### ウ サークル活動等

- 毎 日 ラジオ体操（午前、午後）
- 月2回 グラウンドゴルフ（夏季、冬季はお休み）、介護予防体操、
- 月1回 脳トレクラブ、ぬり絵クラブ

#### エ 健康衛生管理

嘱託医が来荘し、血圧測定、聴診、問診、健康相談などの健診を月に2回実施し、合わせて入所者の日々の状態の観察や毎月の体重測定などにより入所者の日常の健康状態を把握するとともに、専門機関による胸部レントゲンや心電図検査及び血液検査等の健康診断を実施し、疾病の予防と早期発見に努めた。

日々の生活においては、保健衛生に対する意識の啓発を図るため、ウィルス等への感染予防対策としての手洗い、うがい、手指消毒などの徹底とあわせ、希望する職員及び入所者には10月に新型コロナワクチン及びインフルエンザワクチンの接種を受けていただいた。

新型コロナウイルスへの地域の感染状況も把握する中で、昨年度から行動（外出）制限や面会制限を引き続き緩和してきているが、年間を通じ施設内でクラスターが発生することはなく、入所者5名、職員1名の感染を確認した程度で1年間が経過した。

入所者は、通院やデイサービス利用時においてそれらの施設で感染者と接触する可能性も高く、個別の外出の機会が増えてきているので、引き続き油断することなく感染予防対策を徹底するよう周知を図っている。

健康管理に関する諸状況は以下の通り。

- (ア) 「感染症予防対策委員会」「服用薬管理委員会」「人身事故防止対策委員会」「入浴施設衛生管理委員会」「身体拘束等適正化委員会」を3か月に1回開催し、新型コロナウイルスへの感染予防も含め感染症の発生防止及び発生後の諸対応の検証を行うとともに、日常の健康管理、安全管理、服用薬の管理取扱い等についてその状況の検証や今後の業務改善について検討した。入所者には安心、安全な日々の生活が送れるよう引き続き感染症等の発生防止、衛生管理等の徹底に努めていく。

(イ) 入所者の疾病による通院・入院の状況は次の通り。

(通院者・入院者の延べ人員)

(単位：名)

区 分	内科	外科	整形外科	脳神経外科	泌尿器科	耳鼻科	婦人科
通院者	174	9	345	12	18	5	0
入院者	95	15	105	18	0	0	0

区 分	心臓外科	眼科	精神科	皮膚科	歯科 口腔外科	心療内科	ペイン クリニック	合 計
通院者	0	86	36	17	94	0	4	800
入院者	0	0	9	0	0	0	0	242

※通院者：1名が15日通院すれば延べ15名とカウント 入院者：1名が10日入院すれば延べ10名とカウント

(ウ) 保健室業務状況

服用薬管理 (延) 6,935名

疾病等相談業務 (延) 416名

(エ) 嘱託医のへいりん荘における診療業務

内科診療 (延) 908名

オ 介護保険関係 ※ 介護保険サービスは重複利用者有り。

(単位：名)

介護 保険 認定 者	介護度	要支援1	要支援2	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	計
	男	2	2	4	3	1	0	12
	女	3	5	5	8	0	0	21
	計	5	7	9	11	1	0	33

(単位：名)

介護 保険 利用 者	利用形態	デイ サービス	入浴介助	通院介助	生活援助	介護 ベッド	福祉用具	計
	男	4	5	0	0	4	2	15
	女	8	11	0	0	10	3	32
	計	12	16	0	0	14	5	47

カ 給食

入所者の嗜好や健康状態を十分に把握する中で、栄養価に配慮し、バランスがとれ、バラエティに富んだ献立を作成し、入所者の食欲が増進され手づくりの味が堪能できるよう吟味した食材で調理した美味しい食事を提供することを基本に給食を実施した。

誕生会をはじめとする行事食は、特別メニューの献立とすることで、食事への関心が深まるよう対応に努めるとともに、季節を感じることでできる献立によりメリハリをつ

けた食事の提供を心掛けた。

さらには、減塩・低脂肪に配慮した調理により老化への影響を防ぐとともに、個々の体調に見合った療養メニューも用意するとともに、感染症が発生した際には、お弁当形式で各居室で食事が摂取できるような体制を整え、食生活の面からも入所者の健康管理を支援し、体調の維持にも留意した。

なお、「給食委員会」を3か月に1回開催し、入所者の食事について問題点・改善点を検討し、食材に関しては、多くの品目で値上がりが続く中で事業予算にも影響が出ていることから、献立のメニューを工夫するとともに、納入数量の調整や交渉による価格の抑制を図り、経費の節減に努めた。

#### キ 環境保全と美化

入所者の協力を得て荘庭の樹木の手入れ、花卉類の栽培育成、害虫の駆除、除草、ごみ類の収集処理を行うとともに、浴場、食堂、廊下などの共用場所については衛生管理を徹底するため清掃等を常時実施した。また、専門業者により廊下の床面やジュータン敷部分及び浴室の定期的清掃を行うとともに、主として居室棟・食堂棟周りの殺菌・殺虫消毒作業も行い、環境の美化と不快害虫の少ない快適な生活環境づくりに努めた。また、庭内遊歩道、林間の緑地帯等の除草など行い、生活環境の保全と周辺的美観の維持を図った。

#### ク 防災対策等

日常生活の中における防災意識を高めるとともに、非常の際の避難方法の周知徹底を図るため、消防計画及び地震防災応急計画に基づき総合防災訓練や避難訓練を実施した。また、消防設備等については、専門業者により動作確認等の定期点検を行い、不具合が生じている機器は入れ替え等を行い、各種設備の適切な維持管理に努めた。

職員の日常業務においては随時、居室内の落下危険物の点検、廊下等の危険個所の確認や段差の解消、手すりの設置などの必要な対応を行い、不慮の事故の発生防止に努めた。

なお、入所者が外出した際は交通事故にあわないように、入所者集会等で注意を促すとともに、万一に備え入所者へは氏名・住所を記載した身分証明書を配布し、携行していただいている。

#### ケ 地域交流関係

新型コロナウイルスへの感染が収まっていないことなどから、令和6年度も地域との交流の機会は設けることが出来なかったが、地域への貢献事業として、甲府市南東地域包括支援センター等の協力を得て、昨年度立ち上げたチームオレンジへいりん荘により、11月13日に地域の郵便局や周辺福祉施設等のスタッフ等の参加も得て、「家族みんなで考えてみよう 認知能力が低下した時に困ること」や「介護・認知症相談コーナー」「展示コーナー」など認知症に関する内容を中心にイベントを開催した。

なお、玉諸小学校PTA様からは、入所者の心を癒していただければと、寄せ植えの花籠とタオル類のご寄附（プレゼント）を、また玉諸地区社会福祉協議会様からは敬老の日祝賀会に際しての慰問品をいただいた。

#### コ 苦情解決制度関係

令和6年度は、本荘の健康管理に関する利用者からの苦情の申し出が1件あり、苦情

処理第三者委員も含めて申出者に対して丁寧に説明を行った。

## 5 運営組織及び人事管理

### (1) 基本的考え方

施設運営は、その運営組織が円滑に機能し、施設利用者へ良質で適切なサービスが如何に提供されているか否かによって評価されることから、運営組織において業務に携わる職員の意識やその意識をまとめ上げていく組織管理の在り方が問われてくる。従って限られた人員ではあるが効率的な運営組織を編成し、職員個々の人間性や能力を尊重する中で研修会等を通して当施設で働く職員として相応しい人材育成に努め、組織の力が最大限発揮されるように日々の業務に取り組んでいくこととしている。

### (2) 理事会、評議員会及び監事会

社会福祉法の趣旨に沿って、各理事においては、職員との連携を密にし、事業の進め方や課題解決に向けての協議を行う中で、理事会において速やかに法人としての意思決定を行い、また、各評議員においては、決算の承認等の手続において、理事や事務局に対して必要な助言を行うとともに、組織運営の検証や今後の方向性を検討し、それぞれに円滑な法人運営に資する役割を果たしていただいた。

監事会においては、決算監査並びに定期監査を実施して財務運営等の状況をチェックするとともに改善点を指摘して、法人及び施設の健全な運営に寄与していただいた。また、各監事には、理事会等の席上において助言等もいただいている。

### (3) 業務執行組織と人事管理等

ア 「処務規程」に基づき次の体制で業務を執行した。

組織別人員（令和6年4月1日現在）

（単位：名）

組織名	施設長	事務次長	生活相談員	事務員	看護師	介護職員	栄養士	調理員	計
軽費老人ホーム	1	1	1	1	1	4	1	4	14

職員構成（令和6年4月1日現在）

（単位：名）

男女別	施設長	事務次長	生活相談員	事務員	看護師	介護職員	栄養士	調理員	計
男	1	1	1			1			4
女				1	1	3	1	4	10

在職年数（令和6年4月1日現在）

（単位：名）

1年	2年	4年	5年	6年	7年	8年	14年	18年	20年
2	1	1	1	1	1	2	2	2	1

年齢構成（令和6年4月1日現在）

（単位：名）

21歳～30歳	31歳～40歳	41歳～50歳	51歳～60歳	61歳～70歳
0	0	5	5	4

### イ 業務の執行状況

入所者に関する身体の状態や生活状況について職員は共通理解を持つように努め、入所

者への適切なサービスが切れ目なく提供できるよう、平日は朝礼（職員会議）において、入所者の前夜の状況について当直者から報告を受けるとともに、当日の行事等や入所者の外出、通院等の動向について確認を行っている。また、夕方には事務次長を中心とした職員のミーティングを行い、当日の入所者の状況確認や当直者への必要な情報の伝達などを行っている。

毎月1回のサービス会議においては、入所者の生活全般にわたる円滑な支援やレクリエーション行事等について検討を行うとともに、3か月に1回開催する入所者の安全・危機管理対策等に資する委員会においては、日常業務の様々な課題や問題点を拾い出し、その対応方法等を検討し、解決、改善に努めている。入所者への日々の具体的な支援としては、高齢化に伴う身体機能の低下等、入所者個々の状況に配慮する中で、外部の介護サービス等を補完する形で、入浴見守り、買い物や洗濯の手伝い、通院等の介助、汚物処理、行政機関等への各種申請手続きの補助、金銭管理等を行い、入所者の状況に応じて必要な支援を行いきめ細かな対応に努めている。また、職員は組織の一員であるとの認識に立ち、相互協力や創意工夫により、円滑な施設運営が出来るよう意思疎通に努めながらそれぞれの立場で業務にあたっている。

#### ウ 職員研修等

外部への研修等は行わなかったが、荘内での職場会議、職員研修会の開催等を通して、職員の資質向上を図った。栄養・調理関係の研修は、業務の都合で受講が出来なかった。

##### （研修概要）

月 日	参 加 職 員	研 修 内 容	場 所
5月1日	新採用職員（1名）	法人の概要、人身事故防止、感染症予防等について	へいりん荘
9月20日 26日	職員（7名） 職員（6名）	ワクチンに関する知識、ハラスメント、人身事故防止等に関する研修	へいりん荘
10月10日 11日	新採用職員（1名） 新採用職員（1名）	法人の概要、人身事故防止、感染症予防等について	へいりん荘
3月14日 21日	職員（6名） 職員（6名）	感染症防止、人身事故防止、身体拘束及び虐待防止に関する研修	へいりん荘

#### エ 職員の処遇改善

職員の給与改善の一環として、市からの事務費補助金の基準額の改定に合わせ、令和4年度に新設した処遇改善特別手当を、月額で3,000円増額することとし、日直・宿直業務に従事する職員については月額7,000円に、それ以外の職員については月額5,000円に改定した。（令和7年1月支給分から適用）

#### 6 施設等の整備状況（施工した主な工事等は次の通り）

- ・パッケージ型消火設備交換工事等
- ・浄化槽修繕工事（マンホール、汚水桝等修繕ほか）
- ・火災報知機等消防設備修繕工事